

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	一般社団法人もりりん		
○保護者評価実施期間	令和8年2月3日		～ 令和8年2月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	令和8年2月3日		～ 令和8年2月13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者個々の生活状況や特性に関する情報共有がされており、職員間で一貫した支援の共通理解に努め、一人ひとりに合った関わりをしている	利用者個々の特性や生活上の困りごとに応じ、一人ひとり異なる「合理的配慮」を組織的に提供できるよう取り組んでいる。 ・担当職員の配置を工夫することで、活動の楽しさや参加の楽しさを体験できるよう職員間で話し合っている。	常勤・非常勤の職員が提案しやすい職場環境を整え、個別の課題を共有し、職員全体で支援方法を見直すよう取り組む。
2	活動内容をマンネリ化させず、様々な方法で情報を収集し常に新しい刺激や楽しさを提供している。	5領域を意識しながらバランスの良い療育を考え、職員だけでは思いつかない専門的な視点や技術を活動に取り入れるよう取り組んでいる。(OT/ST/MTの指導を取り入れる)	・外部研修等へ参加し最新の情報を全職員に伝達し療育の質を高める。また、理論的根拠を持って取り組めるようにする。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母会の活動支援、保護者会による交流の提供、兄弟参加のイベント等の交流の機会の提供が不足している	・人・時間の不足 日々の療育で手一杯になりイベントの企画・運営に回せる人員が不足している。また、保護者が集まりやすい休日や夜間にイベントを設定することが難しい。 ・場所の問題 全員が集まれる広いスペースがない。	既存の行事に兄弟を招待し参加していただけるようお手紙を出す。 一度に集まる人数を制限しながらの分散開催を実施できるよう工夫する。また、別場所での開催も検討していく。
2	非常時の対応について周知がされていなかった	利用契約時・内容に大きな変更があった場合の説明になっていたため周知されなかった	新年度が始まったときに家庭用のマニュアルを配布したり他地域等で災害が発生したときなどに連絡帳やお便りで再確認できるようにする
3	研修案内などの情報提供が不足している	県や市からの案内については、印刷してその都度お知らせしていたが、配布のみでは提供不足だった。	研修内容など簡単に書き加えたプリントを配布する。また、研修後参加した方のお話などを聞いてお便りにて報告していく。 保護者様の悩みなどをお聞きしたときには、研修や本などの紹介をしていく。研修はオンラインでできるなど参加しやすいもの等を紹介していく。